

# 令和6年度 埼玉県学力・学習状況調査 結果について

- (1) 実施日 令和6年5月 14日(火)、15日(水)、16日(木)
- (2) 実施学年 4～6年 個人の伸びを追跡し、児童一人一人の学力を確実に伸ばしていくことがこの調査の大きな目的です。中学入学後も3年間継続して行われます。
- (3) 実施教科 国語・算数
- (4) 調査の結果については下記のとおり(％は平均正答率を表しています)

## ①平均正答率と学力のレベル等

| 学年          | 4 年                                                                                |       | 5 年   |       | 6 年   |       |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 教科          | 国語                                                                                 | 算数    | 国語    | 算数    | 国語    | 算数    |
| 埼玉県         | 51.9%                                                                              | 62.6% | 56.9% | 53.4% | 56.7% | 50.9% |
| 狭山市         | 48.7%                                                                              | 60.3% | 54.8% | 51.3% | 55.0% | 49.0% |
| 本 校         | 53.6%                                                                              | 61.5% | 60.0% | 56.1% | 59.9% | 49.3% |
| 県平均との差      | +1.7%                                                                              | -0.9% | +3.1% | +2.7% | +3.2% | -1.6% |
| 上段 R6 下段 R5 |                                                                                    |       | +1.8% | +2.5% | +4.9% | +4.2% |
| 学力のレベル      | 1～12の段階に分け、それぞれのレベルを更に A、B、C に3分割して表す。<br>最上層は12-A。小4は1～7、小5は2～8、小6は3～9の範囲の中で表される。 |       |       |       |       |       |
| R6年度(県)     | 6-C                                                                                | 5-C   | 6-B   | 5-B   | 7-C   | 6-B   |
| R6年度(本校)    | 6-B                                                                                | 5-B   | 6-A   | 5-A   | 7-B   | 6-C   |
| R5年度(本校)    | —                                                                                  | —     | 6-B   | 5-B   | 7-A   | 6-B   |
| 1年間の伸び      | —                                                                                  | —     | +1    | +1    | -1    | -1    |

## ②考察

今年度の本校の学力結果は、平均正答率において国語で、全学年埼玉県平均値を上回りました。一方で、算数は、4年、6年で埼玉県平均値を下回る結果となりました。

また、学校全体として、無解答率が、調査問題の終盤になるにつれ高くなっているという課題があります(全国学力調査も同様)。今年度は、タブレット端末を活用したテストになり、テスト開始時に問題全体を俯瞰してみることができないこともありました。そのためか、時間内に終わらない児童が多くみられました。今後も継続的に問題をスムーズに読み進め、問題の意図や要旨を素早く捉える力と共に、見通しをもって問題に取り組む力の育成を図っていきたいと思います。

調査問題において、東小の解答結果を分析すると、各学年、次のような強み、弱みが見られました。

|     |    |    |                                        |
|-----|----|----|----------------------------------------|
| 4年生 | 国語 | 強み | ・修飾、被修飾語の関係 ・文を読み返し、より良い表現にする ・ローマ字の表記 |
|     |    | 弱み | ・漢字の音訓 ・指示語の役割と内容の理解 ・辞書の正しい使い方        |
|     | 算数 | 強み | ・角の大きさ ・時刻と時間 ・二次元表の読み取り               |
|     |    | 弱み | ・小数の減法 ・道のりと距離 ・重さの単位 ・三角定規の性質 ・球の半径   |
| 5年生 | 国語 | 強み | ・文の構成 ・修飾、被修飾語の関係・指示語の役割 ・漢字辞典の使い方     |
|     |    | 弱み | ・言葉の意味の理解 ・段落のまとめ                      |
|     | 算数 | 強み | ・除法の計算 ・概数の意味 ・図形の面積の求め方 ・割合           |
|     |    | 弱み | ・数の相対的な大きさから小数を捉える ・折れ線グラフの読み方、書き方     |
| 6年生 | 国語 | 強み | ・物語文の読解 ・考えをまとめて書く ・修飾、被修飾の関係理解        |
|     |    | 弱み | ・文脈に即した言葉 ・副詞に呼応した文末表現                 |
|     | 算数 | 強み | ・角柱の面積 ・平行四辺形の求積 ・単位量あたりの大きさ ・グラフの読み取り |
|     |    | 弱み | ・四則の混合した式の計算 ・計算の工夫 ・分数の計算 ・比例         |

| 学年・教科 | 4 年 国語 |          | 5 年 国語 |          | 6 年 国語 |          |
|-------|--------|----------|--------|----------|--------|----------|
| 評価の観点 | 知識・技能  | 思考・判断・表現 | 知識・技能  | 思考・判断・表現 | 知識・技能  | 思考・判断・表現 |
| 埼玉県   | 55.8%  | 45.9%    | 63.0%  | 49.5%    | 61.9%  | 50.4%    |
| 狭山市   | 53.2%  | 42.0%    | 62.0%  | 45.9%    | 60.8%  | 47.9%    |
| 本 校   | 56.6%  | 49.1%    | 66.5%  | 52.0%    | 62.5%  | 56.7%    |
|       |        |          |        |          |        |          |
| 学年・教科 | 4 年 算数 |          | 5 年 算数 |          | 6 年 算数 |          |
| 評価の観点 | 知識・技能  | 思考・判断・表現 | 知識・技能  | 思考・判断・表現 | 知識・技能  | 思考・判断・表現 |
| 埼玉県   | 68.5%  | 37.6%    | 54.9%  | 48.1%    | 55.2%  | 35.0%    |
| 狭山市   | 66.4%  | 34.9%    | 52.7%  | 46.4%    | 53.6%  | 32.0%    |
| 本 校   | 66.8%  | 39.2%    | 57.2%  | 52.4%    | 52.9%  | 36.1%    |

国語と算数の両教科において、概ね「思考・判断・表現」に関わる内容は正答率が高く、一方で「知識・技能」の内容では、平均値同等かそれを下回る傾向がありました。

また、国語、算数の両教科に共通することですが、学年によって、各教科の得意な領域と、苦手としている領域が違っていることが分かりました。これらを分析し、児童の学力を高めていくための方策や手立てを、学年間で共有し取り組んでいきます。

「知識・技能」と「思考・判断・表現」の力は、相互作用しながら身についていくものです。基礎的・基本的な知識・技能を着実に高めつつ、それらを活用できる場面を十分に確保し、課題解決や自分の思いを適切に表現することができるよう支援を継続していきたいと思います。

学力学習状況調査の個人結果は、担任よりお渡しいたします。ご家庭におかれましては、結果をご確認いただき、お子様の学習状況を把握してください。

尚、問題につきましては、公表されません（返却もありません）。類似問題が以下のウェブサイト公開されております。ご活用ください。



<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyous/images/fukusyuusi-to2.html>

＊『県学力・学習状況調査の「復習シート」について』  
（埼玉県教育委員会）

# 令和6年度 全国学力・学習状況調査 結果について

- (1) 実施日 令和6年4月18日(木)  
(2) 実施学年 6年  
(3) 実施教科 国語・算数  
(4) 調査の結果については下記のとおり(％は平均正答率を表しています)

## ①平均正答率

| 教 科      | 国 語    | 算 数    |
|----------|--------|--------|
| 本 校      | 71.0 % | 62.0 % |
| 埼 玉 県    | 69.0 % | 64.0 % |
| 全国(公立学校) | 67.7 % | 63.4 % |
| 全国平均との差  | +3.3 % | -1.4 % |

## ②令和6年度 問題の特徴

- ・国語：学習指導要領に示されている内容に基づいて、その全体を視野に入れながら、小学校第5学年までの内容から出題している。  
〔知識及び技能〕 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 (2)情報の扱い方に関する事項 (3)我が国の言語文化に関する事項  
〔思考力・判断力・表現力等〕 A話すこと・聞くこと B書くこと C読むこと
- ・算数：学習指導要領の第2章第3節算数における、「数と計算」、「図形」、「測定」、「変化と関係」、「データの活用」の各領域に示された指導内容をバランスよく出題している。小学校第5学年までの内容。

## (5) 調査結果より

今回の調査で見た本校児童の課題は、以下の2点です。

### ①思考力・判断力・表現力等

国語では、全国平均を上回る一方で、算数では、特に思考力・判断力・表現力を問う問題に対する正答率の低さが課題として表れていました。

国語においては、「話すこと・聞くこと」の正答率が比較的低く、自分の考えをもっているものの、目的や意図に応じて自分の考えをまとめたり、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討したりすることができるか、ということに苦手なことがわかりました。

これは算数においても同様に、記述式の問題で誤答や無解答が多く見られました。児童の多くは、問題に正答を出すことはできています。しかし、その計算の意味を式と言葉で記述したり、解答の理由を言葉と数を用いて記述したりすることが苦手なようです。

この結果から、授業の中で、相手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる経験や、文章や話の組み立てを工夫して書いたり発表したりする機会をさらに増やし、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組んでいこうと思います。



### ②無解答について

昨年度と同様、本校の課題の1つとして挙がるのが問題の終盤になるにつれ、無解答が多くなることです。児童は、問題を解く力は備えているものの、時間が足りずに最後までたどり着くことができていないということです。

分からない問題にも一つ一つ向き合って考えようとする本校児童の素直で真面目な良さがよく表れているようにも感じられますが、分からない問題に時間を取られて、正答できるはずの問題を落としてしまうことは、非常にもったいないことです。テストでの時間配分や分かるところから先に解くという判断も日々の学習の中で経験させていこうと思います。

